

【令和5年度 授業改善推進プラン】

板橋区立北野小学校

【生活】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の周りの自然や人との関わりに気付き、興味関心をもって取り組んでいた児童が多い。 ・1. 2年生での交流学习、植物の観察や世話等に意欲的に取り組むことができた。 ・2年生は1年生との交流活動を通して、上学年として意識を高められた。 ・植物を育てることを通して、変化や生長に関心をもち、観察内容を絵や文で記録している。 ・植物の観察や世話をすることで植物に対する思いやりや育てたいという意欲の向上が見られた。 ・「町たんけん」では、地域の商店について質問したいことを考えインタビューをして、関心を高めた。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や人と関わる体験を増やし、気付いたことを表現する活動を充実させる。 ・児童の気付きを見取り、それを価値付ける手だての工夫をする。 ・観察カードで文章を書くのに苦労している児童が見られるため、更に観察内容を絵や文で記録するための視点を示し、五感を使って気付きを表現させていくことが課題である。 ・集団で安全に校外学習をするための約束を意識していない児童が数名いた。歩きながら、他人の家の物を触ってしまうこともあるため注意が必要である。 ・コロナ禍で縮小されていた校外活動や交流活動の実施ができるように計画を立てる。 ・校外学習で、交通安全の徹底や近隣へのマナーの意識付けが課題である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連を意識(カリキュラムマネジメント)し、合科的な指導を意図的、計画的に進めていく。 ・幼稚園・保育園との交流会を計画実施し、自然や人との関わりについて学ぶことができるようにする。(保幼小連携) ・個々の気付きを共有したり、十分な活動の時間を確保したりする。 ・㊦知らない ㊧わがない ㊨んなといっしょ(右側) ㊩わらない ・集団で歩くときの注意を具体的に示し、歩きながら他人の家の物や動植物を触らない指導を加えた。 ・校外学習や交流活動など体験的な活動を計画的に実施し、多くの体験から気付きが得られるような機会を設ける。

